

- このたびは、給気電動シャッターをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品の注意事項をよく知っていただき、正しく取り付けていただくために、この取扱・取付説明書をよくお読みください。
- この商品を安全に正しく使っていただくために、お使いになる前にこの取扱・取付説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- 取付工事は、必ず専門の工事店にご依頼ください。
- 取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、この取扱・取付説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れのしかたを説明してください。また、この取扱・取付説明書をお客さまで保管いただくように依頼してください。
- お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

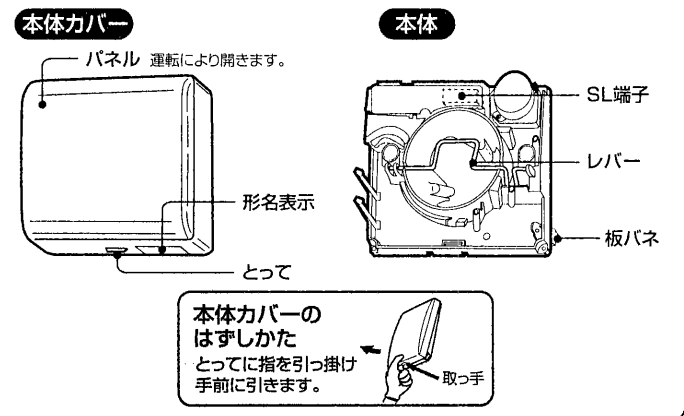
警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、*物的損害の発生が想定される内容を示します。

* 物的損害とは家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

	⊘は、禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、⊘の中や、近くに文章や絵で示します。左図の場合は「分解禁止」を示します。
	ⓘは、強制(必ずすること)を示します。具体的な強制内容は、ⓘの中や、近くに文章や絵で示します。左図の場合は「電源を切る」を示します。

各部のなまえ



警告

- 絶対に改造はしないこと
発火したり感電することがあります。
- 修理技術者以外の人は、絶対に分解・修理をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。
- 交流100V以外では使用しないこと
火災や感電の原因になります。
- お手入れの際、必ずスイッチを「切」にしておこなうこと
感電やけがをすることがあります。
- 電気部品は、水につけたり水をかけたりしないこと
発火したり感電することがあります。

注意

- 電気工事は必ず電気工事店に依頼すること
電気設備技術基準や内線規定に従って安全・確実に行うこと
誤った電気工事は火災や感電の原因になります。
- 本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行うこと
落下により、けがをすることがあります。
- 直接炎のあたる恐れのある場所には取り付けないこと
火災の原因になります。
- 本体カバーや部品の取り付けは確実に行うこと
落下により、けがをすることがあります。
- 取り付け、お手入れの際は必ず手袋を着用すること
板金部品などの切り口や本体の突起、角などでけがをすることがあります。

使いかた

- 別に設けた換気扇本体のスイッチ、あるいは壁スイッチで操作します。
- 換気するには
換気扇本体のスイッチ、あるいは壁スイッチを「入」にするとパネルが開きます。
 - 止めるには
換気扇本体のスイッチ、あるいは壁スイッチを「切」にするとパネルが閉じます。
-

仕様

取付場所	壁面、天井面に取り付けできます。
付属品	木ねじ 4本
適用パイプ	DV-14MK ₂ 塩化ビニール管(4番管, VP-100, VU-100), メタルパイプφ100 DV-20MK ₂ 塩化ビニール管(6番管, VP-150, VU-150), メタルパイプφ150
壁厚寸法	●パイプフードDV-141RUVを使用時は70mm以上 ●ペントキャップDV-142C ₂ を使用時は64mm以上 ●パイプフードDV-201RUVを使用時は85mm以上

特性	電圧 100V 50/60Hz共用		
形名	消費電力(W)		質量 (Kg)
	50Hz	60Hz	
DV-14MK ₂	3	3	0.53
DV-20MK ₂	3	3	0.73

お手入れのしかた ※あまりよごれないうちに(3ヵ月毎)お手入れしてください。

■お手入れの前に

- 換気扇本体のスイッチ、あるいは壁スイッチを「切」にします。
- 手袋をご使用ください。
- 中性洗剤をご使用ください。化学ぞうきんやスプレー式クリーナー、シンナー、アルコール、ベンジン、灯油、ガソリン、みがき粉、アルカリ洗剤は使わないでください。



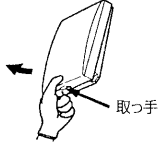
■試運転

つぎのように試運転を行ってください
●換気扇本体のスイッチ、あるいは壁スイッチを「入」にし、つぎのことを確認してください。

- パネルは開きますか
- 異常な振動、騒音はありませんか

■パネル・本体カバーのお手入れ

1 本体カバーをはずします。とつてに指を引っ掛けて、手前に引きまします。パネルと本体カバーは分解しないでください。



2 中性洗剤溶液に浸した布をしぼって汚れをふきとります。洗剤が残らないよう、水でしぼった布でふきとります。
●水洗いしないでください。パネル動作不良の原因となります。



■本体のお手入れ

1 ほこりをクリーナーで吸い取ります。
2 本体は取り付けたまま中性洗剤溶液に浸した布をしぼって汚れをふきとります。
●レバーを変形させないでください。



■お手入れが終わったら

●本体カバーを取り付けます。音がカチッとするまで本体に押しつけまします。本体カバーを軽く引っ掛けて、簡単にはずれないか確認し、はずれる場合はやり直してください。取り付けが不完全ですと落下することがあります。



取り付けかた

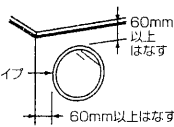
販売店・工事店さま用

■つぎのことをお守りください

●高温(40℃以上)になる場所、油煙の多い場所、腐食性ガスの発生する場所に取り付けしないでください。プラスチック部品が変形したり、絶縁が悪くなり感電することがあります。



●天井や壁からの距離を守ってください。本体カバーの取り付け、取りはずしができなくなります。



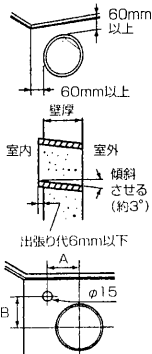
●メタルパイプをご使用の場合、切断面のバリを取ってください。

●電子式の運動スイッチ(東芝ライテック製 WDC33021(WS)等)との組合せでは使用できません。機械式の運動スイッチ(東芝ライテック製 DG1752H)をご使用ください。

■本体を取り付ける前に

■壁に取り付けるとき

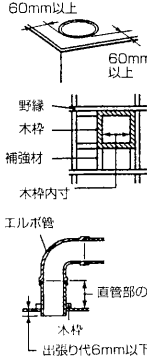
- 1 パイプの取り付け穴位置を決めます。
- 2 壁に穴をあけ、パイプを取り付けまします。雨水が室内へ入らないようにパイプを少し傾斜させまします。パイプが壁面より引っ込まないようになしてください。
- 3 電源ケーブル(VVFケーブルφ1.6、φ2)を引き込みまします。



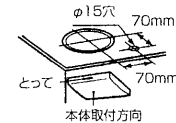
形名	A	B
DV-14MK2	70	70
DV-20MK2	80	80

■天井に取り付けるとき

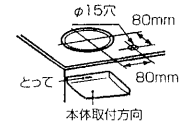
- 1 パイプの取り付け穴位置を決めます。
- 2 木枠をつくり野縁に固定しまします。
●木枠内寸
DV-14MK2 □116mm
DV-20MK2 □167mm
- 3 天井に穴をあけ、配管工事をしまします。パイプが天井面より引っ込まないようになしてください。
●直管部の長さ
DV-14MK2 78mm以上
DV-20MK2 98mm以上



◆DV-14MK2



◆DV-20MK2



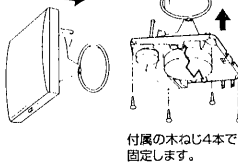
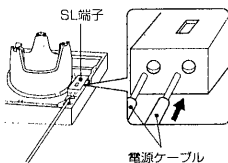
- 4 電源ケーブル(VVFケーブルφ1.6、φ2)を引き込みまします。とつてを壁側にしないでください。
- 5 本体カバーをはずしまします。とつてに指を引っ掛けて、手前に引きまします。



■本体の取り付けかた

■本体をパイプに取り付けまします

- 1 電源ケーブルを加工しまします。
12mm 30mm
- 2 電源ケーブルをSL端子に、芯線が止まるまで確実に奥まで差し込みまします。
- 3 電源ケーブルのたるみをなくしなから、本体をパイプに差し込みまします。
〈壁取付〉 〈天井取付〉

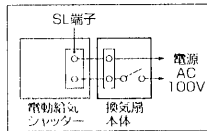


お願い
●天井取付時は必ずねじで固定してください。

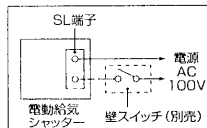
■配線図

●コンセントの設置は不要です。

〈換気扇に接続する場合〉



〈壁スイッチを設ける場合〉

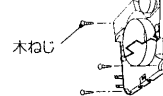


■試運転をしまします

●壁に取り付けるとき
換気扇本体のスイッチ、あるいは壁スイッチを「入」にし、つぎのことを確認してください。

- パネルは開きますか
- 異常な振動、騒音はありませんか

●本体が壁面に密着しないときは、付属の木ねじ4本で固定しまします。本体と壁面にすぎまがでると、空気もれの原因となります。



●天井に取り付けるとき

1 本体カバーを取り付けまします。音がカチッとするまで本体に押しつけまします。本体カバーを軽く引っ掛けて、簡単にはずれないか確認し、はずれる場合はやり直してください。取り付けが不完全ですと、落下することがあります。

2 換気扇本体のスイッチ、あるいは壁スイッチを「入」にし、つぎのことを確認してください。

- パネルは開きますか
- 異常な振動、騒音はありませんか

修理を依頼される前に

■下記のような現象が生じた場合は、お客さま自身で点検してください。

現象	点検
スイッチを入れてもパネルが開かない	●ブレーカーが切れていませんか。 ●停電ではありませんか。

■上記の点検をしても症状が変わらないときは、事故防止のためすぐに電源を切って、お買い上げの販売店・工事店に点検・修理をご依頼ください。(有料)
★ご自分での修理は、危険ですから絶対にしないでください。

東芝キヤリア株式会社 換気機器部

〒416-8521 静岡県富士市蓼原336番地
TEL. (0545) 62-5702